

競技上の確認事項

大会競技委員長

- 1 競技規則について
2025年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
- 2 競技方法について
 - (1) トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
3セットマッチ（デユースあり）とする。
 - (2) 準決勝終了後に1回戦敗退チームによる親善マッチを行う。
2セットマッチ（デユースあり）
- 3 チーム編成について
 - (1) 提出されたチーム構成表（エントリー用紙）は全試合に適用し、選手の変更はみとめない。
チームスタッフを変更する場合は、所定の用紙を使用し、代表者会議開始までに大会本部に提出する。
 - (2) 試合時にフロアへ入場できるのは、当日エントリーされた者のみとする。但し、合同練習時、隣接コートへのボール侵入防止のため、チーム関係者がフロアへ入場することは認めるが、球出し等の指導は不可とする。
- 4 試合球について
男子・混合：モルテン（V4M5000-L） 女子：ミカサ（V400W-L）
- 5 ベンチスタッフの服装について
 - (1) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するかチームで統一された服装でなければならない。
 - (2) 監督がジャケットを着用し、その他のチームスタッフが統一された服装であれば許可される。
 - (3) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
 - (4) 試合中、左胸部に規定の監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれ着けなければならない。
 - (5) 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。
- 6 試合進行について
 - (1) 試合開始時刻は、プログラムに記載してある通り第1試合のみ設定する。
 - (2) 第2試合目以降は、競技委員の指示があるまでコート後方で待機する。競技委員によるコートチェック終了後、競技委員の指示によりベンチ入りし10分間の合同練習を開始する。
 - (3) 合同練習は、隣接コートの試合に支障をきたさない範囲でボールの使用を認める。但し、ネットを使用しての練習は禁止する。
 - (4) 合同練習終了後、プロトコールに入る。また、全試合で公式練習を行う。
 - (5) 試合の終了したチームは、速やかにベンチを空ける。また、キャプテンは記録用紙へのサインを済ませる。
 - (6) 試合前後の挨拶は、ネットを挟んでの握手を行う。また、キャプテン、監督とレフェリーはフェアプレーの精神で握手を行う。
- 7 試合中について
 - (1) 監督、コーチ、マネージャーは、子どもの健全育成を目指す指導者としての自覚をもち、

不適切な行為そのものはもちろん、誤解を招くような行為も厳に慎む。

- (2) 監督は、ボールデッド間に、立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができる。このことは、監督がみだりに立ち上がる行為を容認するものではない。また、ベンチスタッフが自然発生的に喜びの表現として偶発的に立ち上がる行為は許容範囲であるが、監督以外が、毎回のように立ち上がったり、数歩前に出たりする行為は認められない。さらに、監督が、選手とハイタッチをしたり、飛び跳ねたりする行為及び、相手を威嚇する行為も認められない。
- (3) 床に落ちた汗はコート内の選手が拭くため、複数の選手にタオルを携行させる。
- (4) うちわ等については、セット間及びタイムアウト中のクールダウンに使用する場合にのみベンチへの持ち込みを認める。
- (5) マスコットのぬいぐるみ、千羽鶴等) やメガホンなど音響効果のための用具の持ち込みを禁止する。
- (6) 水筒やスクイズボトル等は小さなかごに入れて保管し、直接床に置かない。また、ペットボトル、キャンプカートの持ち込みを禁止する。
- (7) 携帯電話やトランシーバー、タブレット等の電子機器の使用は禁止する。

8 応援マナーについて

- (1) 応援マナーの厳守は、監督の責任において徹底させる。相手への威嚇、審判団へのクレーム、あるいは類似した行為は慎み、積極的に感謝と称賛の意を表すように努める。
- (2) 横断幕は、試合をしているチームのみ掲示を許可し、観覧者の視界を遮ることがないように手摺りの下部に紐等を使用して固定すること。
- (3) のぼりは、観覧席の最後部に紐等を使用して立てる。
- (4) 鳴り物（太鼓やラッパなど大音量の出るもの）の使用やうちわ等用具類を叩いての応援は禁止する。
- (5) K T Xアリーナのサブアリーナでは、メガホンの使用を禁止する。
- (6) 施設及び付帯の設備等を叩きながらの応援は禁止する。
- (7) カメラなどのフラッシュ撮影は禁止する。